

第1号議案

令和5年度 アジェンダ21すいた 事業活動報告

1 フラッグシッププロジェクトの推進

(1) 地球温暖化防止プロジェクト

1 事業内容

フラッグシッププロジェクトとして8年目になりました。地球温暖化防止、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に対する認知度をさらに高め、市民・事業者自らがライフスタイルを転換することを目標に、広く活動を行いました。



1-1 「すいたクールアース大作戦」の推進

すいたクールアースウィーク 2023

市内公共施設、企業、各種団体の皆様で「地球温暖化防止に向けた取り組みの全市的な促進」を目的に、令和5年9月22日（金）～10月9日（月・祝）を「すいたクールアースウィーク 2023」とし、省エネ活動、地球温暖化に関する啓発や展示などに取り組みました。

具体的な取り組みは以下の通りです。

<取り組み1>

すいたムーンライトコンサート 主催：アジェンダ21 すいた

ポスター制作協力：大阪アニメーションカレッジ専門学校

令和5年度のすいたムーンライトコンサートを江坂公園内の野外ステージにて実施しました。

日時：令和5年9月29日（金）18：30～20：30

場所：江坂公園



<取り組み2>

月の観望会 主催：一般財団法人 大阪市青少年活動協会

施設内をライトダウンし、望遠鏡で月の観望を行いました。

日時：令和5年9月29日（金）19：30～20：30

場所：わくわくの郷・吹田市自然体験交流センター

<取り組み 3>

ダウンライトカフェ 主催：健都パークライフ創造パートナーズ

カフェ内の照明を部分的に落として、LED ライトで光の演出を行いました。

期間：令和 5 年 10 月 7 日（土）～9 日（月・祝）

時間：18：00～21：00

場所：健都ライブラリーカフェ（吹田市岸部新町 2-31）

<取り組み 4>

関連図書コーナーの設置・絵本の読み聞かせ 主催：吹田市内各図書館

月や地球温暖化に関する図書の特設コーナーの設置、月に関連した絵本の読み聞かせを行いました。

<取り組み 5>

Delight in the Night・コミュニティボードでの告知

主催：スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

1 Delight in the Night

店内の照明を部分的に消灯（de light）し、いつもと違うディライト（delight、楽しい）な空間でゆったりとした時間を過ごしていただくプログラムを行いました。

場所：スターバックス コーヒー イオン北千里店、江坂オッツ店、吹田山田店、阪急南千里店、関西大学千里山店

2 コミュニティボードでの告知

「すいたクールアースウィーク」関連イベントについて店舗のコミュニティボードやイーゼル黒板にて告知しました。

場所：スターバックス コーヒー イオン北千里店、江坂オッツ店、吹田山田店、阪急南千里店、関西大学千里山店

<賛同企業・団体などの取り組み紹介>

*五十音順 <>内は指定管理者

アサヒビール株式会社 吹田工場

エネルギー使用量の削減（各生産設備の省エネ対策推進）、場内各所の節電（事務所や会議室、トイレ等のこまめな消灯、階段による昇降）、リサイクルや廃棄物削減（食品ロス削減、ペーパーレス会議）、環境保護活動（ごみ拾い、側溝の清掃）などを実施しました。

株式会社 エイチ・ツー・オー商業開発

イズミヤ SC 千里丘

お客様、従業員へのすいたクールアースウィークの周知などを実施しました。

大枝印刷 株式会社

ポスターチラシを自宅に持ち帰り、家庭内の話題でクールアースウィークを取り上げました。仕事に出る資源ごみの分別を再生可能性を考慮して指定場所に捨てるとともに、指定場所が分からないものがあれば一旦保留し、全体会議を実施して処理を決定し、社内で統一した行動ができるようにしました。

木材、芝などの大量の廃棄物が出る企業に働きかけ、廃棄物を利用したエシカルペーパーを提案し、商品化しました。

10年来継続している地元の清掃活動をホームページに記載するなどして広報活動し、ほかの企業・団体にも広めました。

大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部

低酸素社会の実現に向けたキャンペーン「Fun to Share」に賛同しており、CO₂削減に向けた具体的な取り組みで、令和5年9月30日（土）までCOOLBIZを実施しました。

また令和5年9月22日（金）から10月9日（月・祝）まで、東日本大震災以降、すでに点灯を控えている17号館時計塔に加え、16号館屋上の「大阪学院大学」サインの終日ライトダウンを実施しました。

図書館においても、すいたクールアースウィーク中に、地球温暖化について考え、ライフスタイル、事業スタイルを見直す機会となるような企画展示を実施しました。

大阪学院大学・三輪ゼミ

ゼミ生が各自で取り組み事項を決めて、すいたクールアースウィークの期間取り組み、事後に気づきや感想を語り合って共有するとともに、今後の取り組みについて話し合いました。

大阪ガス 株式会社

夏季空調を28度に設定の上20時以降はOFFにしたり、カジュアルスタイルでの執務などを実施しました。

国立大学法人 大阪大学

エネルギー使用量の削減、リサイクルや廃棄物削減、夏期の軽装の励行などを実施しました。

大阪大学エネルギーマネジメント計画に基づき取り組みました。

電力可視化システムによる使用電力の見える化を行いました。

学校法人 関西大学

会議資料のペーパーレス化、クールビズの実施、環境に配慮した空調利用、マイボトル携行に向けたウォーターサーバーの設置、使い捨てビニール傘の削減、コンタクトレンズ空ケースのリサイクル、衣料回収ボックスの設置などを実施しました。

関西大学総合図書館では、令和5年9月21日（木）から令和6年1月31日（水）まで、SDGs関連の取り組み「KU Library thinks SDGs2023」を実施しました。その一環

として9月22日（金）から12月2日（土）まで、「すいたクールアースウィーク」とコラボレーションしたブースを設置し、SDGs 関係の推薦図書の展示やポスター掲示を行いました。

株式会社 ガンバ大阪

ガンバ大阪選手の写真素材協力や、ガンバ大阪 SDGs プロジェクトを行いました。

CAT グループ

キャットミュージックカレッジ専門学校

大阪アニメーションカレッジ専門学校

すいたムーンライトコンサートのポスター作成協力や、学内の節電、電灯スイッチ・エアコンスイッチに節電ステッカーを貼り、啓蒙活動を実施しました。

特定非営利活動法人 ここ

エコバッグの持参、ノーマイカー通勤などを実施しました。

株式会社 ジェイコムウエスト 北大阪局

営業車を削減し、専用車を導入し営業員のライドシェアの実施を開始したほか、節電やペーパーレスでの会議などを実施しました。

NPO 法人 すいた市民環境会議

会報誌「吹田の郷」による啓蒙活動などを実施しました。

吹田市子育て青少年拠点夢つながり未来館（ゆいぴあ）

節電やこまめな消灯によるエネルギー使用量の削減、ペーパーレス会議によるリサイクルや廃棄物削減などを実施しました。

吹田市立男女共同参画センター・デュオ

センター1階の情報ライブラリーにて、関連図書のピックアップ展示コーナーを設置しました。

株式会社 大久

節電やマイボトル・エコバッグの持参などを実施しました。

株式会社 ダスキン

節電やこまめな消灯、階段による昇降の推奨、マイバッグ・マイボトルの持参などを実施しました。

日本植生 株式会社

エネルギー使用量の削減、リサイクルや廃棄物削減、持続可能な食生活の推進、環境保護活動への参加などを実施しました。

メイシアター〈公益財団法人 吹田市文化振興事業団〉

すいたクールアースウィーク期間中、メイシアター建物のロゴ照明を消灯しました。

リコージャパン 株式会社

エネルギー使用量の削減、リサイクルや廃棄物削減、自転車や公共交通機関の利用推奨などを実施しました。

【その他賛同企業・団体等】

- ・阿部住宅設備機器 株式会社
- ・クレヨンハウス大阪
- ・吹田市
- ・吹田市情報発信プラザ（Infotrst すいた）
- ・吹田市花とみどりの情報センター〈株式会社 日比谷アメニス〉
- ・吹田商工会議所
- ・吹田市立博物館
- ・吹田歴史文化まちづくりセンター〈特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会〉
- ・スパゲッティリアマッキー di Hayashida
- ・生活協同組合コープこうべ（コープ吹田・コープミニ山田）
- ・千里金蘭大学
- ・吹田市資源リサイクルセンター〈公益財団法人 千里リサイクルプラザ〉
- ・三井不動産 株式会社（EXPOCITY）

1-2 地域通貨・ポイント制度などの調査検討

地域通貨・ポイント制度などの検討につきましては、まだ検討段階で、実施には至っておりません。今後、さらに調査と検討が必要です。

1-3 NATSクールアースウィークの検討

今年度はNATS各市でクールアースウィークを実施するには至りませんでした。各市の市民団体と交流を深めました。

2 実施評価及び課題

地球温暖化防止フラッグシッププロジェクトでは、「すいたムーンライトコンサート」を江坂公園で実施することができ、500人近い来場者を得て、実施することができました。

来年度につきましては、さらに多くの方が参加できるよう、これまでにない飲食を伴ったのありかたの検討を行いたいと思います。

また、「すいたクールアースウィーク」は例年どおり実施し、賛同団体と連携した地球温暖化防止の啓発活動を行いました。参加団体も微増ではありますが、増えつつあり、賛同団体による様々なイベントなどが再開され、昨年度より多くの啓発ができました。

課題としては、「すいたクールアースウィーク」の取り組みを広めるため、NATS 各市の市民団体との交流を深め、NATS 各市での「クールアースウィーク」の実現の可能性を探りましたが実現に至っておりません。また、吹田市の賛同団体を増加させるため、これまで声をかけなかった団体などへの声かけも力を入れて進めていきます。

「すいたムーンライトコンサート」については、関係団体との連携、新たな担い手の創出など、旧来のありかたから一歩、工夫をして、取り組みたいと考えています。

(2) 食品ロス削減プロジェクト

1 事業内容

2-1 すいた食べきり運動の推進

すいた食べきり運動推進協力店

令和 5 年 5 月に、登録内容の変更及び賛同取消の確認のため、実施要領などの書類を郵送しました。

登録店舗の整理を行い、また、1 店舗を新規登録したことにより、協力店舗登録数は 58 店舗（令和 6 年 2 月現在）となりました。

2-2 てまえどりキャンペーン

食品ロス削減月間（令和 5 年 10 月）に、ごみ減量再資源化推進会議のメンバーのスーパー 7 社、コンビニ 3 社の協力を得て、てまえどりキャンペーンを実施しました。店頭にはポスターやレールポップ、スウィングポップの掲示を依頼しました。

令和 6 年 2 月のすいた環境教育フェスタのプレイイベントとして、令和 6 年 1 月 12 日（金）～14 日（日）イズミヤ千里丘店にて、食品ロス削減啓発パネル展示及びてまえどりに関するアンケートを行いました。

2-3 食品ロス削減啓発講座（映画会）

食品ロス削減映画会「もったいないキッチン」

日 時：令和 6 年 5 月 12 日（日）10：00～12：00

場 所：千里市民センター

参加者：14 名

オーストリア人で、映画監督のダーヴィド・グロス氏は、自身の車「キッチンカー」で

1 か月程かけ日本各地を回りました。そして訪ねた土地の廃棄食材を生かして料理を作り、現在の日本における食品大量廃棄の実情を訴える手段としてこれを「もったいないキッチン」と銘打ち映像化しました。

映像を通して、日本にある「もったいない」精神を呼び起こすこと、食品ロス削減に意識を向けることが出来ました。

2-4 規格外食材の販売に関する調査研究

今年度は実施できませんでした。

2 実施評価及び課題

「すいた食べきり運動」では登録店舗に対し、登録内容の変更及び賛同取消の確認を行うとともに、啓発グッズを届けました。コロナ禍の影響で大幅な新規開拓は実施しませんでした。閉店した店舗もあり協力店舗数は減少しました。

「てまえどりキャンペーン」を今年度は10月「食品ロス削減月間」に実施することができ、参加店舗も昨年に比べて増えました。

「食品ロス削減啓発講座」として映画「もったいないキッチン」の上映会を開催し、「食べ物を捨てることはもったいない」ということを実感してもらい、今後の活動変容につなげることができました。

「規格外食材販売に関する調査研究」については、今年度は取り組むことができませんでした。

今後の課題は、「すいた食べきり運動」のさらなる拡大と周知、「てまえどりキャンペーン」の継続に加えて、食品ロスの問題を自分事としてとらえてもらえるよう、啓発の機会を増やしていくことです。

2 全体事業

(1) 市内環境団体との連携・交流を図るための連絡会などの開催 事業内容

すいた環境教育フェスタ 交流会

すいた環境教育フェスタ2024の出展団体と、アジェンダ21すいた主催で交流会を実施し、アジェンダ21すいたから5名、その他の団体の代表者11名の合計16名が参加しました。

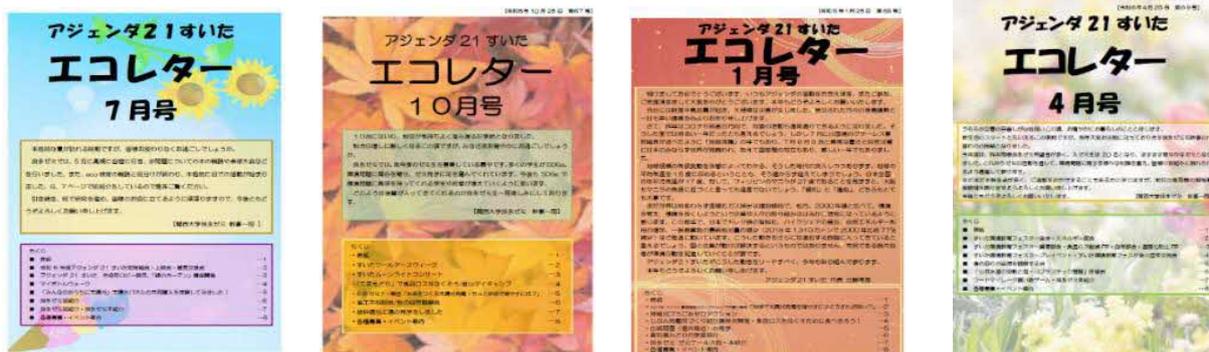
「市民にもっと環境問題に関心を持ってもらうために、何をすべきか？」というテーマについて、3つのグループに分かれて、意見交換を行いました。

(2) エコレターの発行

事業内容

関西大学良永ゼミの学生の方と共同で「エコレター」を作成しています。記事作成は共同で行い、編集は良永ゼミの学生の方が行っています。学生の方の若い視点で市民の目を引く「エコレター」を発行することができました。会員への情報提供及び市民への環境保全活動の普及を目的に、年4回発行しています。

(令和5年7月、10月、令和6年1月、4月)



(3) すいた環境教育フェスタ

事業内容

令和6年2月3日(日)にくるくるプラザにて開催されたすいた環境教育フェスタに、アジェンダ21 すいたも出展しました。「つなげよう! 未来へ! ~楽しく知ろう、エコな生活~」と題して、各部会からパネルや展示物を掲示しました。

全体では「エコすごろく」に取り組み、来場者に環境に関するクイズを解きながらすごろくをしてもらいました。

各部会は、エネルギー部会はミニソーラー組み立てワークショップや「じぶん発電」の実物の展示、資源部会は給茶コーナーや「マイボトルマップ」の紹介展示、自然部会は特定外来生物への注意喚起のポスター等の展示を実施しました。

フラッグシッププロジェクトは、地球温暖化防止チームはクールアースウィーク・ムーンライトコンサートの報告展示、食品ロス削減チームは「てまえどりキャンペーン」と「すいた食べきり運動」のポスター展示を行うと共に、参加者へアンケートを実施しました。

(4) ホームページの管理・運営

事業内容

令和5年6月から令和6年5月にかけて、「アジェンダ21 すいた」の活動を広く市民に情報発信しました。

(5) ホームページの改修

事業内容

ホームページをリニューアルし、より見やすいサイトにしました。

(6) 定時総会運営事業

事業内容

令和5年7月15日(月・祝)に、まちなかりビング北千里で定時総会を開催しました。

(7) 環境月間展示

事業内容

環境月間である令和5年6月12日(月)～19日(月)に市役所本庁舎ロビーにて展示を実施しました。

エネルギー部会は「エコキャンドル講座」と「自分発電所づくり組立講座」のポスターとパネルの実物、資源部会は「マイカップ・マイボトルで得するカフェマップ」と市内の給水機マップ、自然部会は「みどりのカーテン」についてのポスターと在来種の植物だけで作った「在来種の庭(商工会議所玄関前)」の紹介ポスターを展示しました。

フラッグシッププロジェクトは、地球温暖化防止チームは「すいたクールアースウィーク」と「すいたムーンライトコンサート」の紹介のポスター、食品ロス削減チームは食品ロス削減啓発パネルを展示しました。

3 部会別事業

【エネルギー部会】

1 事業内容

脱炭素社会の実現を目指し、市民へのエコライフの周知や再生可能エネルギー促進のため、あらゆる機会を活用し環境意識の啓発活動を進めていきます。

1-1 環境教育の推進

すいた環境教育フェスタにおいて、エネルギー部会が中心となり、アジェンダ21 すいたの全体事業として、「エコすごろく」を実施しました。参加者は69名で多くの子ども達に環境問題への意識を高めていただいたと感じています。

また、同時開催した「ミニソーラー組立ワークショップと自然エネルギーのお話」を通して、太陽光などの自然エネルギーについても関心を持ってもらえたようです。

令和6年4月6日(土)には「フードマイレージ買物ゲーム」を開催して、子どもたちに食と交通、環境(CO₂排出削減)の関係を通して食の地産地消への理解に繋げることができました。

1-2 市民啓発イベントの開催

令和5年8月5日(土)千里山コミュニティセンターにおいて、「未来をつくる太陽光発電!もっと吹田で増やすには?」と題して和歌山大学客員教授・自然エネルギー市民の会代表の和田武さんにご講演をいただきました。

29名の参加をいただき、太陽光発電に対する関心の高さを実感しました。

また、令和6年5月25日(土)にはラコルタにおいて、「再エネを増やし未来ある日本を!」と題して、映画の上映とセミナーを開催し、カーボンニュートラル実現のため、市民が取り組むことの大切さと展望について考えました。

1-3 省エネ相談会の実施

令和5年9月23日(土・祝)イズミヤ千里丘店において、省エネ相談会を実施しました。参加者は11名でやや少なめでしたが、参加された方の省エネ意識は高かったようです。

1-4 じぶん発電所づくり講座の開催

令和5年11月5日(日)千里丘市民センターにおいて、NPO法人エコロジーオンライン理事平田賀彦さんを講師に、10名の参加でじぶん発電所づくり講座を開催しました。

毎年好評をいただいている講座で、太陽光パネルについての理解、促進につながっており、次年度以降も引き続き実施予定です。

1-5 企業、大学との連携推進

吹田市内CO₂多量排出事業所について、CO₂排出量の状況調査をレポートにまとめ、ダイジェスト版の冊子を発行して配布しました。

1-6 太陽光発電の普及に向けた事例調査とワークショップの開催

8月の太陽光発電普及セミナーを受けて「地域で太陽光発電を増やすにはどうすれば良い?」をテーマに、令和5年10月15日(日)及び令和5年11月11日(土)の両日にわたって、「新エネルギーをすすめる会」の西田さん、「市民エネルギー生駒」の楠さんから先進事例の報告を受けて、ワークショップ(意見交換)を行いました。

また、能勢豊能まちづくり(株)渡邊さんからは、「具体的でわかりやすく、事業コンセプトをしっかりとつとめること」などの提言もありました。

このワークショップ参加の皆さんからも様々な意見が出され、市民共同発電所づくりに向け、今後活かせる提案もたくさんあり有意義なものとなりました。

2 実施評価及び課題

脱炭素社会の実現を目指し、再生可能エネルギーの普及啓発を中心に省エネへの取り組み、吹田市内 CO₂多量排出事業所の調査結果をレポートにまとめダイジェスト版として発行するなどして市民の環境意識の啓発に努めました。

また、吹田市民を対象に太陽光発電普及のためのセミナーやワークショップを行うなどして、市民への太陽光の普及啓発活動においても一定の成果を得ることができました。

今後の課題としては、市民のみならず事業者（中小企業等）に対しても環境マネジメントの周知など脱炭素への取り組みを推進・支援していくことと考えています。

【資源部会】

1 事業内容

持続可能な循環型社会を目指すため、使い捨てのライフスタイルを改め、物を大事にする意識の啓発と3Rのリデュースに重点を置いた、ごみを生まない資源循環の仕組みを形成します。

1-1 市内に給水スポットやマイボトル対応のカフェを広げる取り組み

ア カフェマップの作成及び給水スポットの調査

市内でマイボトル対応のカフェが増えたため、マップの更新をしました。

また、「マイボトル対応のカフェ」と「給水機スポット」を両面刷で配布資料を作成しました。

イ マイボトルキャンペーン

令和5年6月18日(日)に、北千里地区で、吹田市の給水機2か所、阪急北千里 駅、マイボトル対応カフェ1か所のマイボトルウォークを行いました。

令和6年1月12日(金)から14日(日)に、すいた環境教育フェスタのイベントにおいて、イズミヤ千里丘店でカフェマップやペットボトルに関する情報の展示とマップの配布を行いました。

すいた環境教育フェスタにおいて給茶コーナーを設け、給茶サービスを行うと共にマイボトル持参に関するアンケートを行いました。

令和5年10月11日(水)に、象印マホービン記念館を見学しました。

ウ 水道水をもっと飲もうキャンペーン

令和5年10月23日(月)に大阪市の水道記念館、令和6年2月28日(水)に神戸市の日本酒用専用水道を見学しました。

また、令和5年10月23日(月)に大阪市下水道記念館、令和6年3月5日(火)に吹田市の水再生処理センターを見学しました。

1-2 ごみの減量・資源化のための啓発

ア 海洋プラスチック汚染を考える

・神崎川プラごみゼロアクション

「すいた市民環境会議」と共催で、原田禎夫先生（同志社大学）を講師に海洋プラスチックの話聞きながら、プラごみなどを拾ってウォーキングを行いました。

日 時：令和5年11月23日（木・祝）

場 所：神崎川河川敷 江坂～中之島公園 約4km

参加者：41名

・公共上下水道の役割と海・川プラスチック問題の研修会

令和6年3月23日（土）、「リフィル大阪」と共催で研修会を行いました。

参加者は47名、内容は原田禎夫先生（同志社大学）の講演「海・川へ流れ込むプラスチックごみの問題から、先進事例を学ぶ」と、NPO水政策研究所の活動「能登半島地震の水道事業の救援活動」、リフィルJapanの活動、大阪大学「キャリアマイボトル」の大学内に給水機を設置する活動、アジェンダ21 すいた・資源部会がマイボトル対応カフェマップを紹介しました。

イ 家庭から出るごみの減量を考える

吹田市ごみ減量再資源化会議のメンバーとして2回の会議（令和5年8月3日（木）と令和6年1月26日（金））に出席しました。また、令和5年7月12日（水）に破碎選別工場、令和5年11月29日（水）に資源循環エネルギーセンター、令和5年12月13日（水）に紙問屋「福井商店」を見学しました。

ウ スーパー調査

生活に密着したスーパーの売り方（主に食料品）、リサイクルBOXの実情を知るため、「全国スーパーマーケット環境調査2023」に参加し、吹田市内の3店舗の調査をしました。（令和5年10月～11月）

2 実施評価及び課題

「マイボトル対応カフェマップ」の配布資料は啓発に役立ちました。「マイボトルウォーク」は初めての試みでしたが、「楽しく学ぶ」機会になりました。

海洋プラスチック汚染を考える催しとして、「神崎川プラごみゼロアクション」を2年ぶりに開催ができ、原田禎夫先生の講演を含む研修会を開催しました。

見学会は、水道施設と下水道施設などを訪問、家庭から出るごみや資源の処理施設（焼却工場、破碎選別工場、紙問屋）にも行くことができました。

スーパーマーケットでのプラスチックの店頭での使用実態を調査することにより、「全国スーパーマーケット環境調査2023」の一端を担うことができました。

今後の課題は、これまでの活動をより深めていくことと、だれもが気軽にしゃべれる「環境カフェ」の実現です。

【自然部会】

1 事業内容

吹田市域において生物多様性に配慮し、自然を守り育てる活動を展開し、人と自然が共生できる環境づくりを推進します。

1-1 みどりのカーテンの普及・啓発活動

みどりのカーテン講座

ヒートアイランド現象の緩和に資するものとして開催しました。自然部会メンバーが講師となり、みどりのカーテンの効果、家庭菜園の楽しさについて講義し、みどりのカーテン作りの実演を行いゴーヤの苗を配布しました。

日 時：令和6年5月25日（土）

場 所：千里山コミュニティセンター

参加者：26名

1-2 自然観察会

季節の変わり目に身の周りの自然を観察しよう、とのテーマで自然観察会を開催しました。

秋分の日を観察会

日 時：令和5年9月23日（土・祝）

場 所：千里南公園

講 師：菅井啓之先生

参加者：10名

春分の日を観察会

日 時：令和6年3月20日（水・祝）

場 所：千里南公園

講 師：菅井啓之先生

参加者：20名

1-3 生物多様性の普及・啓発活動

各種イベントで生物多様性パネル展示・リーフレット配布により普及啓発しました。

外来種植物の草木染講座

日 時：令和6年5月19日（日）

場 所：南千里地区公民館

参加者：9名

木材を使ったコースター制作ワークショップ

日 時：令和6年5月25日（土）

場 所：江坂公園

参加者：16名

2 実施評価及び課題

みどりのカーテン講座は、市民の関心も高く、充実したものとなりました。

自然観察会は、親子歓迎の募集で子ども達の参加も多くいつもの公園を違った目線で観察し、改めて自然の楽しさ、すごさを体験できた有意義な観察会でした。

生物多様性については、特定外来種・在来種の両側面から取り組んでいく必要があります。

今後もテーマに沿って市民にわかりやすく参加しやすい活動を組み立てていく必要があります。そのために他団体とも連携しながら進めていく必要があると考えています。

部会・フラッグシッププロジェクト・幹事会の参加メンバー（50音順）

エネルギー部会

筏隆臣、井上道代、今井絵里菜、大林テル、岡本榮一、鍵谷誠一、馬場慶次郎、福井一彦、前田芳聰、百地俊満、吉田誠

資源部会

井上道代、武林禮子、孫田ケイ子、水川晶子、三輪信哉、山口百合子

自然部会

喜田久美子、寺西信昭、渡会雅敏、馬場多佳子、藤田和則

地球温暖化防止プロジェクト

池渕佐知子、井上道代、小山修平、渡会雅敏、馬場慶次郎、馬場多佳子、前田芳聰、三輪信哉

食品ロス削減プロジェクト

池渕佐知子、大林テル、柏原美子、武林禮子、丸谷友孝、水川晶子

幹事会

池渕佐知子、井上道代、井原麻琴、梅本桂子、岡本榮一、小田信子、鴻巣玲子、小山修平、馬場多佳子、藤田和則、水川晶子、三輪信哉